




動物病院ニュースレター


2021年6月号



梅雨の季節がきました



6月は予想外に寒くなることもあり
人間と同じようにワンちゃん、猫ちゃんも
体調を崩すこともあります。
温度管理に気をつけて過ごしましょう。



梅雨時期のよくあるトラブル 3 選

梅雨時期は雨が多く、湿度が高い時期です。
菌も繁殖しやすいため、ペットには健康トラブルの危険が沢山潜んでいます。

今月は梅雨時期のよくあるトラブル3つをご紹介します。
ペットは自分でトラブルを予防できません。
そんなワンちゃん、猫ちゃんをご家族で守ってあげましょう！



梅雨トラブル ベスト3

1. 食中毒

人間でも湿度の高い梅雨シーズンでは食中毒の注意喚起がされますが、開封して食べ残したワンちゃん・猫ちゃんのフード（特に缶詰など水分の多いもの）、不衛生な食器などにおいても細菌繁殖が起こりやすく注意が必要です。

2. 皮膚病

被毛に覆われている動物の体は、蒸れやすく、菌繁殖が起こりやすい状態です。

よくある疾患としてはマラセチアによる外耳炎、耳ヒゼンダニによる耳疥癬、細菌感染による膿皮症、ノミによるアレルギー性皮膚炎などがあります。

3. 害虫トラブル

ノミやダニ、蚊などの害虫は高温多湿環境で活動が活発になります。

マダニは日本紅斑熱や SFTS などさまざまな病気を媒介し、人やペットの命にかかわる病気を運ぶ危険もあります。

ノミは下痢や食欲低下を招く犬条虫などを、蚊は命に関わるフィラリアを媒介します。



ご家族のできること

1. 体のケア

雨の日の散歩の後やシャンプー後は、ドライヤーを使ってしっかり乾かします。特に足裏は泥が付くことで菌もつきやすく、乾きにくいので注意です。耳の中も菌が繁殖しやすいので、ティッシュやコットンなどで優しく拭きます。（綿棒は汚れを奥に押し込んでしまう可能性があるため使用は控えてください）フィラリア予防薬、ノミ・ダニ駆虫薬で害虫トラブルもしっかり予防しましょう。

2. 身の回りのケア

ベッドやマットは、できるだけこまめに洗濯・天日干しし、乾いたら掃除機や布団クリーナーで害虫の死骸やホコリなどを吸い取ります。また、ケージやマット類は、掃除機を使い、汚れや被毛、害虫を取り除きます。虫よけ剤を室内に置いたり、ケージやベッドに抗菌作用のあるスプレー剤を吹きかけたりして、細菌や害虫が繁殖しにくい環境づくりを心がけます。

3. 食事のケア

食べ残しフードは早めに片づけ冷暗所や冷蔵庫に保存しましょう。開封後、早く食べきれよう小さ目のパッケージのフードを選ぶのもおすすめです。また、水はつねに新鮮できれいなものをあげられるよう、交換はこまめに。食べカスが混入すると傷みやすいので、食後はとくにしっかりとチェックしましょう。

ご不安な点は、お気軽に当院へご相談ください！



学べるワンニャン語クイズ



問題1：ワンちゃんが自分の気持ちを落ち着かせる行動として当てはまらないものはどれでしょう？

(答えはページの下です。)

- ① 口や鼻をなめる
- ② 前足を挙げてぴたっと止まる
- ③ ふせをする



問題2：人の視野は210度ですが、猫ちゃんの視野は何度でしょう？ (答えはページの下です。)

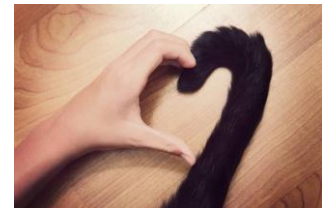
- ① 180度
- ② 230度
- ③ 280度



プチ情報

猫がしっぽをふる理由3つ

猫は表情があまり読めませんが、しっぽの動きを見ていると様々な気持ちを表現しています。



出展：<https://gunosy.com/>

1. 大好きサイン

猫がしっぽをピンと立てているのは子猫が母猫に「かまってよ～」と言う時のサインです。これは飼い主さんに対して見せる時も同じで「大好き！」のサインです。

さらにそのしっぽを小刻みにふるわせていたら、より一層上機嫌だというサインで、嬉しすぎて興奮気味な状態です。

2. リラックスしている

大好きな飼い主さんの膝の上や抱っこで寛ぐ時、落ち着く場所でウトウトしている時などに愛猫のしっぽがゆっくりとユラユラ揺れているのを見たことがある方も多いでしょう。これはとてもリラックスしている時のしっぽの動きです。

3. イライラしている

犬がしっぽをブンブン、パタパタと小刻みに振っていたら「嬉しい！」や「楽しい！」のサインですが、このしっぽの動きを猫がしている場合は犬とは全く逆の感情を表しています。つまり「イライラ」のサインです。

答え

問題1：③ ワンちゃんのカーミングシグナルの代表行動は、口や鼻をなめる、前足を挙げる、体をかく、ブルブルする、まばたきをする等です。

問題2：③ 猫は正面を向いたまま、斜め後ろの獲物もばっちり見えています。

プチ情報

猫が激しくスリスリするときの気持ち 3 つ

1. 甘えたい

特に、飼い主が長時間留守にしていた後などは、スリスリが激しくなることが多いです。

「寂しかった」という気持ちの表れですね。

このとき、飼い主さんが撫でてあげると安心します。



出展： <https://gunosy.com/>

2. テリトリーを主張したい

猫のスリスリには、自分のテリトリーを主張する意味もあります。

猫が激しいスリスリをしていたら、それは知らない匂いや他の猫の匂いがしているのかも知れません。お風呂上がりの飼い主に激しくスリスリするのも同じ理由です。

3. お願いがある

「お腹がすいた」「遊んで欲しい」「ドアを開けて欲しい」など、飼い主に対して何か要求があることも多いです。

この要求が叶えられないと、スリスリの拳句に咬むこともあるようです。

噛むという行動はやめさせなければなりません、その前に猫の要求に早く気づいてあげたいですね。

プチ情報

ワンちゃんが構ってほしい時の行動 5 選

1. プレイバウの姿勢をとる

上半身を低くしてお尻をプリッと突き出す姿勢のことです。

この姿勢はワンちゃんが相手を遊びに誘っているときの典型的なポーズです。



出展： <https://wanchan.jp/column>

2. おもちゃを持ってくる

飼い主さんの足元におもちゃをポトリと落として、いかにも「ねえ、拾ってよ」という目で見上げてくることもあります。

3. 勝手に芸をする

「オスワリ」など、指示をしていないのに芸を披露してくることがあります。

4. 吠える

愛犬が飼い主さんのほうをじっと見つめて「ワン！」と吠えたら、それも構ってほしいサインかもしれません。自分の存在をアピールしているのです。

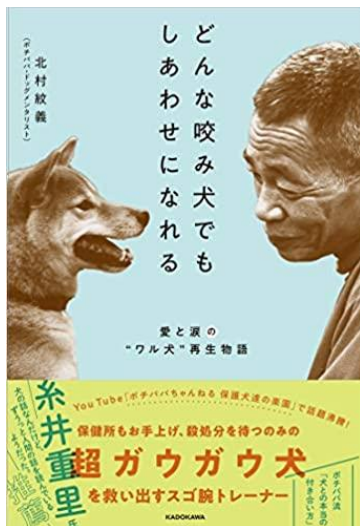
5. 前足を舐める

お散歩直後でもなく、皮膚炎などの疾患を抱えているわけでもないのに、前足を執拗にペロペロと舐めていたら、構ってほしいサインの可能性ががあります。

本の広場

どんな咬み犬でもしあわせになれる 愛と涙の“ワル犬”再生物語

北村 紋義（著）



出典 <https://www.amazon.co.jp/>

「殺処分ゼロ」というスローガンに代表されるような動物愛護の機運が高まりつつあるものの、「誰の手にも負えない」ことを理由に保護の網から漏れ、殺処分される犬はまだまだ後を絶ちません。

とくに扱いが難しい秋田犬や柴犬などの日本犬、暴れや噛みつきがひどい犬、そして人に飼われたことのない野犬などの問題犬は、愛護団体にすら引き取られないことがあります。

そんな犬たちを専門として保護し、飼い主の手に負えなくなってしまった超問題犬を専門に扱うのが、ポチパパこと北村紋義さんです。

YouTube「ポチパパちゃんねる 保護犬たちの楽園」で犬との暮らしを発信しています。

体罰を一切使わず根気よく接する、愛情あふれるトレーニングと、それによって生まれ変わった犬たちの、愛情あふれる感動物語。

保護犬を迎えること、自分に合った犬の選び方、信頼関係の結び方など、北村氏による「犬との向き合い方」や実践アドバイスもふんだんに収録しています。

**噛み犬も暴れ犬も、必ず心は通じ合うー。
犬たちの本当のココロとは？**